

みずほCustomer Desk Report 2025/07/08 号(As of 2025/07/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.34
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	144.49	1.1781	170.17	1.3651	0.6550
SYD-NY High	146.24	1.1789	171.29	1.3653	0.6556
SYD-NY Low	144.24	1.1687	169.99	1.3576	0.6485
NY 5:00 PM	146.08	1.1709	171.00	1.3602	0.6492
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,406.36	▲ 422.17	日本2年債	0.7300%	0.0000%
NASDAQ	20,412.52	▲ 188.58	日本10年債	1.4500%	0.0200%
S&P	6,229.98	▲ 49.37	米国2年債	3.8956%	0.0105%
日経平均	39,587.68	▲ 223.20	米国5年債	3.9577%	0.0193%
TOPIX	2,811.72	▲ 16.23	米国10年債	4.3824%	0.0366%
シカゴ日経先物	39,540.00	▲ 665.00	独10年債	2.6055%	0.0395%
ロンドンFT	8,806.53	▲ 16.38	英10年債	4.5880%	0.0325%
DAX	24,073.67	286.22	豪10年債	4.1890%	▲0.0040%
ハンセン指数	23,887.83	▲ 28.23	USDJPY 1M Vol	10.73%	0.51%
上海総合	3,473.13	0.81	USDJPY 3M Vol	10.38%	0.26%
NY金	3,342.80	▲ 0.10	USDJPY 6M Vol	10.23%	0.18%
WTI	67.93	0.93	USDJPY 1M 25RR	▲0.88%	Yen Call Over
CRB指数	299.28	▲ 0.64	EURJPY 3M Vol	8.43%	0.11%
ドルインデックス	97.48	0.52	EURJPY 6M Vol	8.79%	0.06%

東京	東京時間のドル円は144.49レベルでオープン。仲値近辺は上値重く144.24まで下押しも、その後は反発。トランプ米大統領がBRICSの反米政策に協調する国に追加で10%の関税を課す考えを示したことでドル買いが勢いづいた。145円台乗せ達成後は売り買い交錯し、結局145.07レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は145.07レベルでオープン。トランプ氏が本日中に12か国に対して貿易関税に関する書簡を送付すると発表したことで、ドルは強含みとなった。ドル円は145.65まで上昇し、その後145.51レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は特段注目の経済指標の発表が無い中、米金利の上昇を背景とした買いや、トランプ米大統領が8月1日から本邦からの輸入品に対し25%の関税を賦課する等との発言を受け底堅く推移し、146円ちょうど付近まで上昇。午後は米金利が高水準で推移する展開を横目に、146.24まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、146.08レベルでクローズ。一方、ユーロドルはトランプ米大統領が複数の国に対し25%から30%の関税賦課の考えを受け、ドル買い買い合いが重しとなり、1.1687まで下落。午後は下げ渋り、1.1710付近までじりじり戻し、1.1709レベルでクローズ。

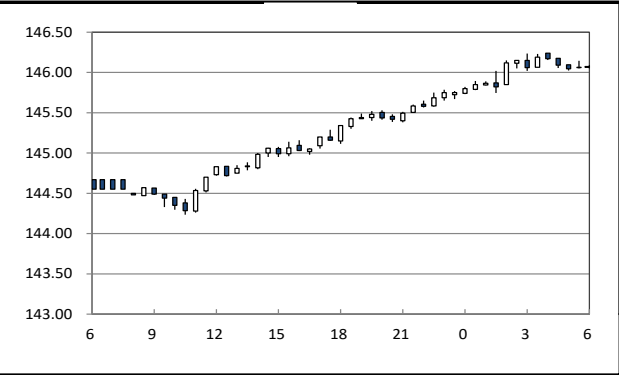
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	5月 115.9	115.9
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	5月 1.2%	-0.2%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	5月 -0.7%	-0.6%

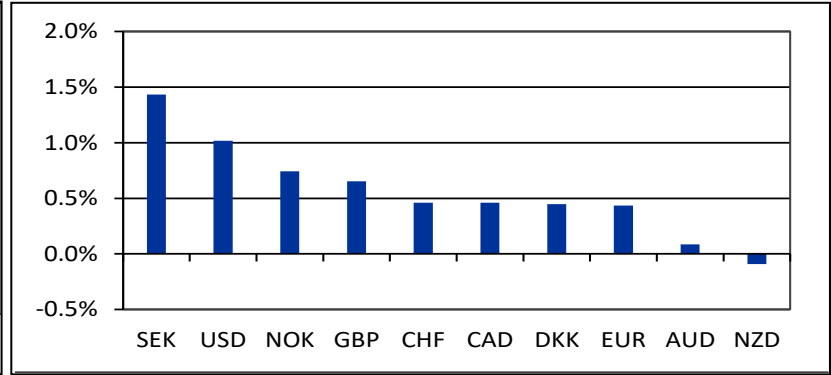
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月8日	10:30	豪 NAB企業信頼感	6月 -	2
	10:30	豪 NAB企業景況感	6月 -	0
	13:30	豪 RBAキャッシュレート	8-Jul 3.60%	3.85%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-146.50	1.1700-1.1800	170.00-171.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、仲値の時間帯を過ぎてから押し目らしい押し目もなく、一日を通して上昇し、146円台をマークした。トランプ政権による関税絡みのヘッドラインと米金利の上昇がドル買いのきっかけとなった。日本はトランプ政権から関税に関する書簡を送付され、4月に公表されていた25%の関税率が8月1日より適用される。適用されるまで約1か月程度の時間があるものの、参院選を控えた中、石破政権は難しい状況に追い込まれているようにも見える。昨日公表された日本の実質賃金も大きくマイナスとなっており、再び“日本売り”を仕掛けるような状況が整いつつある。マクロの状況を見ても、日銀の利上げ再開はまだ遠く、円は全般的に安い水準に留まる状況が続く夏となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。